

<仮訳>

日 EU ビジネス・ダイアログ・ラウンドテーブル
6月3～4日、ベルリン
提言書

Working Party 4

WTOに関する共同宣言

1. EJBDRT は WTO ドーハ開発アジェンダ(DDA)交渉を強力に支持するものであり、欧州連合および日本国政府に対し、今年末までに野心的な交渉をまとめるべく最善の努力を払うよう求める。EU と日本は、このラウンドの成功と野心的な妥結の実現に向け主要なプレーヤー間の努力を傾注させる必要がある。
2. EJBDRT は、世界の指導者が政治的なモーメンタムをおこし、ジュネーブの WTO 交渉を実際の行動と具体的な進展に導くよう希望する。ビジネス界がドーハラウンドを支持するかどうかは、交渉が疲弊する前の今年末までにラウンドの妥結を図るべく、モダリティの交渉に関する合意が迅速に行えるかどうかにかかっていると政治指導者に警告する。
3. EJBDRT の会員企業は世界屈指の貿易業者および投資家である。世界経済は自由貿易の発展および情報技術ならびに輸送技術の発達とともに拡大の一途をたどっているが、保護主義を志向する動きの再燃に懸念を表明する。EJBDRT は、21 世紀の世界経済が持続可能かつ強力な成長を遂げるには、WTO での多国間貿易体制を強化する必要がある、DDA はこの問題を解決する最も適切な方法であると考えている。
4. EJBDRT は、野心的な自由化提案とは、非関税障壁(NTB)を含む工業貿易障壁を排除し、農業の市場アクセスを改善し、貿易をゆがめる補助金を削減または廃止し、サービス業の自由化を大きく進め、貿易促進策、アンチ・ダンピング、アンチ補助金に関する WTO のルールに関しさらなる調和をはかるように合意することであると確信する。EJBDRT が高い優先順位をおく交渉課題は次のとおりである。
 - (1) 第一に EJBDRT は、先進工業国および主要新興国の両方が工業製品に対する関税および非関税障壁を撤廃することの重要性を強調する。特に EJBDRT は、工業国および新興国が相互の関係を見据える形で係数を定め、途上国には 15 という係数を採

用して、論理的でないものまで例外にするのではなく関税の一律削減を行う野心的なスイス・フォーミュラの採用を求める。EJBDRT は、スイス・フォーミュラのほか、たとえば化学品および電子機器などその意思がある部門に対し部門別の関税の合意を受け入れるよう提案する。EJBDRT は、NTB に関し輸出税および輸出制限に力強く取組むための新しいルールを策定し、新しい NTB 仲介メカニズムの創設に向けさらに作業するよう提案する。

(2) 第二に EJBDRT は、サービス分野の交渉により他の DDA 問題と同等の野心的な新しい市場アクセスが提供されることを期待する。欧州委員会と日本国政府は、農業および産業に関するルールが合意された時点で、サービス担当閣僚会議(a service ministerial signaling conference)の開催を求め、可能な限り速やかに次の改定案を提出するよう求める。

(3) 第三に EJBDRT は、野心的かつ拘束力のある貿易円滑化協定(TFA)の締結を提案する。関係各国には、ビジネスに具体的な成果をもたらす遠大な計画を進めるため米国と新興国に圧力をかけることを提案する。さらに、貿易救済措置の原則を改善し調和させる必要性を強調する。

5. DDA 交渉の成功には、途上国による約束および協力が不可欠である。欧州委員会および日本国政府が、たとえばキャパシティビルディング活動を通して配慮をし、多国籍間貿易体制こそ途上国の国益に大きく貢献するとの強力なメッセージを発信することを期待する。日本は、中国および ASEAN の主要アジア諸国からさらに野心的なものを引き出すとともにその支持を高めるため、アジアで強力な指導力を発揮するべきである。

6. DDA 交渉をまとめるには、世界の主要国の指導者が強力な政治的意思を発揮し、またビジネス界から強力な支持を取り付ける必要がある。EJBDRT は、その会員の支持を提供するとともに、欧州委員会および日本国政府に対し、DDA 交渉の再開を実現するため、強力な政治的主導を発揮するとともに、交渉ラウンドを成功させる努力を強化するよう強く求めるものである。